

株式会社エンジョイ

児童発達支援

eエンジョイ松阪

支援プログラム

令和6年11月20日作成

経営理念

子どもたちの圧倒的な笑顔を創る

事業所理念

子どもたちの『笑顔』『幸せ』をつくります！

支援方針

子どもを大切に！

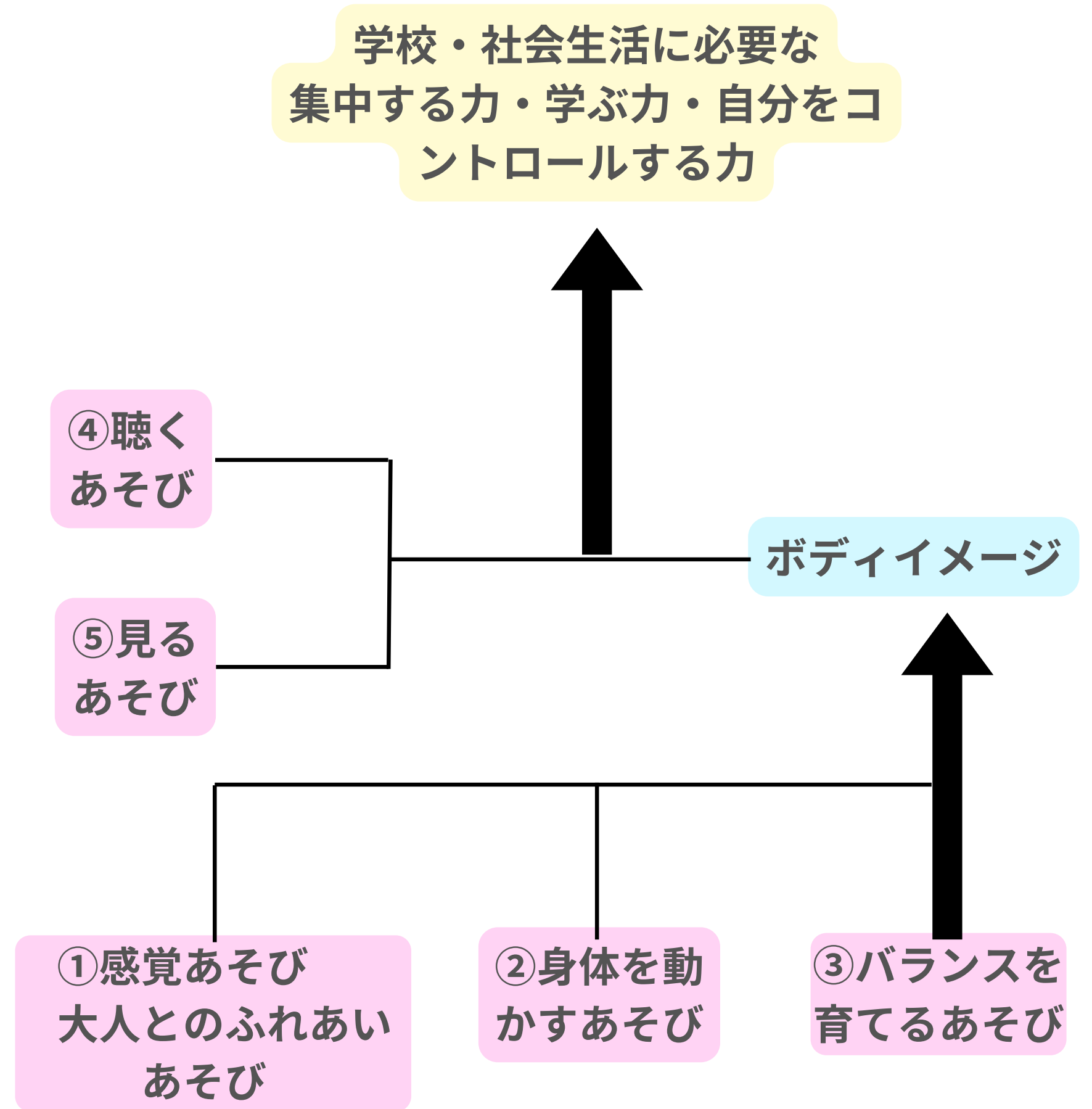
当たり前のことかもしませんが、その当たり前を大切にしていけます。子どもたち、とくに未就学の子どもたちにとって、『大切にされている』、『大切にしてくれている大人との関わり』は、成長に一番といっていよいよ大切なことです。

伝えるを大切に！

『なにができるようになった？』『〇〇がすごかった』を子どもたち、保護者の皆様にお伝えします。そして子どもに関わる機関（保育園・幼稚園等）にも伝え、子どもたちの成長を一緒に喜びます。

育ちを大切に！

私たちは子どもたちが『楽しくあそぶ』中に、『育ち』があると考えています。右の図にある、①-⑤の『あそび』を通して、学校や社会で生きていく為に必要となる力が育まれるように、子どもたちと関わっていきます。その中で、子どもたちの得意なこと、好きなことを伸ばし『できた』を感じられるようにしていきます。



運動室



【思いきり動くお部屋】

- ・サーキットトレーニング・集団遊び（鬼ごっこ、だるまさんがころんだ）など



遊戯室



【思いきり楽しむお部屋】

- ・自由遊び（ままごと、車、電車ブロック、絵本）など



活動室



【思いきり取り組むお部屋】

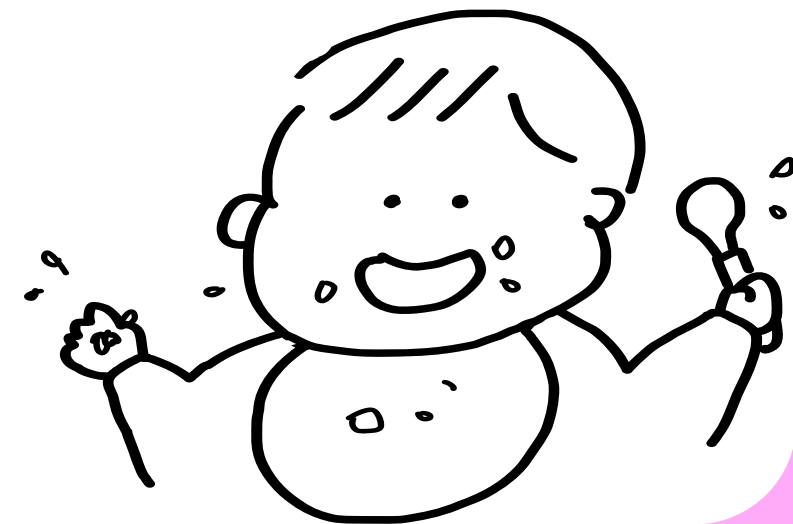
- ・机上演習（マッチング、手先、ルールのある遊び）
- ・リズム遊び・微細活動（感触遊び、肩・腕・手先を使った遊び、工作）など



健康・生活

睡眠や食事、排泄など基本的な生活習慣が身に着くようにします。

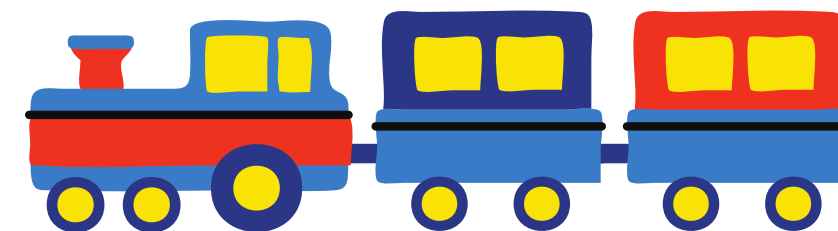
スプーンやフォーク、お箸に移行できるように全身運動や身体の末端への動きにつながる遊びを通して、手先の発達につなげます。排泄は本人の排泄のタイミングをみたり、トイレが安心できる場所であることがわかるようにゆっくりとすすめていきます。家庭や園とも連携をとり、情報を共有しながらすすめていきます。






運動・感覚

- ★ 運動室では、身体を動かすことが楽しいと思えるような環境を設定し、自ら遊びに参加ができるようにします。
歩く・走るの基本動作から、身体を伸ばす・縮める、またぐ・くぐる、ジャンプするなど、全身を使えるよう遊具や巧技台を使って発達を促したり、すべり台でスピード感を味わう、トランポリンで揺れる動きで感覚を取り入れ刺激していきます。
感触遊びでは、柔らかい、固い、ザラザラするなどいろいろな感触に触れる遊びを通して、感覚を刺激していきます。
 - ・サーキットトレーニング・集団遊び（鬼ごっこ、だるまさんがころんだ、ボールを使った遊び）
 - ・感触遊び・五感を刺激する遊びなど





認知・行動

目や耳など本人がどこからの情報が入りやすいかを見極めていきます。

視覚は絵や写真などどれがいいか、聴覚は端的に伝えるのか2語文などがいいのかも把握していき、子どもに応じて支援の方法をスタッフ間で共通認識していきます。

形や色、大小や長短、時間などの概念が育つよう、遊びや机上課題で提供します。

その際は子どもに親しみやすいキャラクター等を用いて、楽しんで取り組むことができるようにしていきます。

- ・ マッチング・手先を使った遊び
- ・ 文字、数字・ルールのある遊び



言語・コミュニケーション

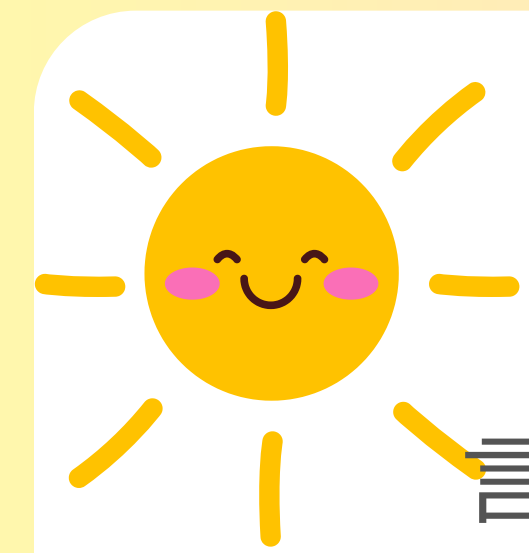
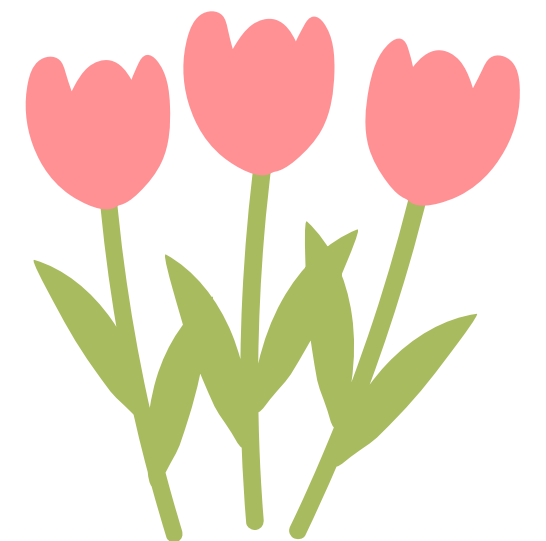
言葉だけの表出に限らず、子どもが自分の意思を何らかの方法で表出する方法をみにつけてもらうよう支援します。

子どもの表現にしっかりと応えることで『伝わった』という経験の積み重ねから、相手に『伝えたい』という気持ちを育てていきます。

伝えたい相手への認識を育てるために、スタッフとの関りを重点に置き

成功体験を積んだり、模倣活動を行います。

- ・ 触れ合い遊び・手遊び・見る、聴く遊び





人間関係・社会性

自分の表出した気持ちをスタッフに共感してもらえたという安心感をもってもらいます。

一人遊びから、対大人との遊び、見立て遊び、他児との並行遊び、他児との協調した遊びにつながるよう、子どもの発達段階に応じてスタッフが関わっていきます。

他児とのトラブルでは、スタッフはすぐに介入せず必要に応じて仲介役となり、自分の気持ちや相手の気持ちを知ったりしながらお互いの気持ちに折り合いをつけることができるようにしていきます。

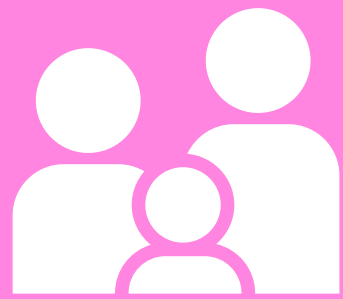
ルールのある遊びでは、初めはスタッフと一緒にいき成功体験を積んでいきます。徐々に他児も一緒にルールに沿って遊ぶことができるようにしていきます。ルールの提示も目や耳からの情報で丁寧に伝えていきます。

勝敗や一番になりたい等の気持ちもしっかりと共感していきながら、徐々に見通しがもてるようにし、次への意欲を育てます。

- ・スタッフや他児と一緒に遊ぶ・ルールのある集団活動・SST



家族支援



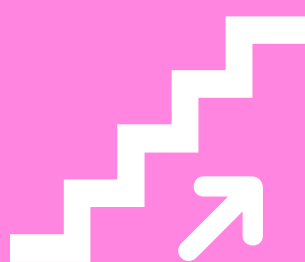
家族の子育てや発達についての相談や援助を行います。
保護者の内面化したニーズを汲み取り、丁寧に支援していきます。
保護者会や座談会では保護者同士のつながりをもったり、支援場面をみながら相談に乗ったりして、家庭での具体的な関わり方の方法を伝えていきます。

地域支援・地域連携



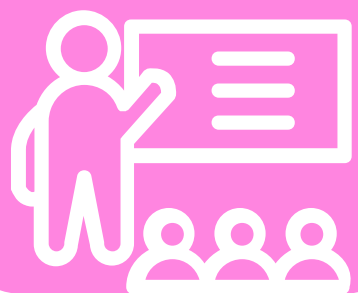
就園先や就学先とは、具体的な支援の方法を伝えていき、子どもに応じた関わり方を伝えていったり、機関の情報を提供したり見学を一緒に行うことで、安心して通所できるようにしていきます。
子どもの得意なこと、支援の方法などを共有し、集団で力が発揮できるようにしていきます。園行事も把握し、子どもが無理のないように通所できるようにしていきます。

移行支援



子どもに関わる機関（園や医療、相談支援事業所など）と情報を共有したり、個別支援計画の説明をしたりしていきながら、子どもが地域で暮らしやすいようにしていきます。

職員の質の向上



社内研修やスーパーバイズ等を行い、質の向上や、風通しの良い職場環境を作っていきます。

支援の基本的なことなどを外部講師を招いて行います。

- ・虐待防止研修や感染症対策等の法定研修・新人研修・スキルアップ研修・事例検討会

主な行事



子どもや保護者様と参加いただけるお祭り（年1回）

営業日



月曜日～金曜日

営業時間



9:00-17:00

休業日



土曜日、日曜日

夏季休業（8月13日～8月15日）、
年末年始休業（12月29日～1月3日）
※月曜日から金曜日の祝日は利用可

送迎の有無



あり

（お子さまに合わせて、園やご自宅が送迎
可能かどうかなどの確認が必要になります）